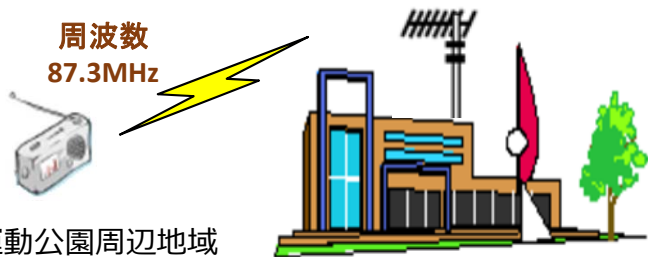


# 放送確保訓練の実施内容

## 氷見市臨時災害放送局

北陸総合通信局の設備を活用し、氷見市が臨時災害放送局を開設。

周波数  
87.3MHz



氷見運動公園周辺地域の避難所（見通し5km程度で聴取可能）

氷見運動公園

（送信所：武道場脇）

訓練放送音声



臨時災害放送局設備  
（市町村貸し出し想定）  
（北陸総合通信局）

情報提供



現地サテライトスタジオ

（ラジオたかおか、富山シティエフエム）

災害対策本部（氷見市）

高岡市では、コミュニティFM局（CFM）であるラジオたかおかの協力を得て、移行型による臨時災害放送局の開設訓練を行う予定。具体的な内容については、市がラジオたかおかに対し臨時災害放送局の開設を要請。市の代理で当局に対して免許申請を行う。氷見での訓練模様等を中心にラジオたかおかが放送を行う。

## 【北陸総合通信局配備の臨時災害放送局設備の仕様】

発射可能な周波数、送信出力（※）	76.1MHz～89.9MHzまで （市販のFMラジオやカーラジオで聴取可） 最大出力100W（無段階で設定可能）
FM送信設備の概要	FM送信機1台、オーディオプロセッサー1台、オーディオミキサー1台、CDプレーヤー1台が1筐体に収容
アンテナ、付属品等	送信アンテナ一式、伸縮マスト（2m～10m）1基、マイクロフォン1本、ヘッドフォン1個、電源ケーブル（ドラム30m）
機器大きさ・重量	幅520mm×高さ600mm×奥行628mm 重量約35kg
電源電圧	AC100V±10%（消費電力約300W）
その他	FM/AM携帯ラジオ（乾電池式20台）

※ 実際に発射可能な周波数や出力は、送信場所その他の条件により制限があります。

### 【FM送信設備】



### 【送信アンテナ】



# 臨時災害放送局の開設方法

災害時における災害情報、被災者支援情報、生活関連情報等は、防災行政無線(同報系)や報道ニュース等でも提供できますが、詳細な情報提供は困難です。

臨時災害放送局は、地方公共団体等が開設する臨時のFMラジオ放送局なので、地方公共団体の判断で番組を編成することができ、FMラジオを通じた詳細な情報提供が可能です。

その開設には、大きく分けて、①コミュニティFM局からの移行型と②新規型の二種類の方法があります。

## (1) コミュニティFM局からの移行型

### 前提条件

- 地域にコミュニティFM局があり、協力が得られること。
- コミュニティFM局の放送エリアが行政区域を概ねカバーしていること。

### 利点

- コミュニティFM局の既存設備をそのまま活用するとともに、番組の企画、制作等の放送局の運用面に関しても支援が期待できる。

### 課題

- コミュニティFM局を休止する了承が必要。  
(事前に費用面も含めた調整と協定締結が重要。)

## (2) 新たに放送設備等を設置する新規型

### 前提条件

- FM局の放送設備、送受信設備、送信アンテナの調達が可能であること。

### 利点

- 地方公共団体の判断だけで開設できる。

### 課題

- 機材の調達、設営、番組の企画、制作等の放送局の運用面の体制整備、無線従事者の確保が課題。  
(事前にコミュニティ放送局との協力協定締結が望ましい。)